

# 令和4年第10回木島平村教育委員会定例会会議録

1 開催日時 令和4年10月26日(水) 15:26～17:06

2 場 所 木島平村役場 議員控室

3 出 席 教 育 長 関 孝志  
教育長職務代理者 角田 道夫  
委 員 月岡 英彦  
委 員 佐藤小百合  
委 員 芳川 文子

4 出席した事務局職員

子育て支援課長 島崎かおり  
生涯学習課長 高木 良男  
生涯学習係長 湯本 邦浩  
子育て支援係長 武田 幸一

## 1 開 会 午後3時26分

## 2 前回会議録朗読承認（署名）

令和4年9月28日開催の令和4年第9回木島平村教育委員会定例会会議録を島崎子育て支援課長が朗読し、出席委員全員が内容を確認のうえ、全員が承認し署名した。

## 3 教育長報告

(1) 10月12日開催の村校長園長会時に、小中学校長保育園長等に指示した事項。

- 教職員の身の置きどころとして、大村はまさんの遺稿「優劣のかなたに」から、人と比べるのではなく、その子の可能性にしっかり向き合ってほしい。慶応義塾大学の今井むつみさんの「主体的な学びとは何か」について、「学びの認知科学辞典」から佐藤学さんら学びの認知について語られている資料を紹介した。サーバントリーダーシップの10の属性を伝えた。校長教頭が身につけておくべき五つの基本姿勢、使命感と責任を持つこと。学校ビジョンを持って運営すること。環境づくりに努めること。人材育成や外部折衝能力を大事にしてほしい。
- 小中学校長に対し、毎月の学校経営重点を校長園長会で報告すること。
- 教育情報として、日本教育新聞（抜粋）コロナ関連でどのような状況で困っているか、解決するにはどうしたらよいか。ヤングケアラーについてどう捉えていくか。
- 生徒指導提要が10年ぶりに改正となった。子どもの可能性を伸ばす生徒指導の手引書であること。
- 県教育委員会情報から、休日の部活動の地域移行について村でも検討に入っていることを情報発信した。
- 文部科学省の情報から「令和の日本型学校教育」を担う教師の在り方特別部会中間まとめ他について紹介したこと。
- 木島平型教育関連として小学校5年生の社会の教科書（東京書籍）に木島平村の米づくりが掲載されていること。
- インクルーシブな教育はどの子ども支える教育理念である。

(2) 10月26日教育委員会定例会資料から

- 木島平小中学校に勤める教職員の心得として7つの心得を遵守し、学校生活を子どもと共に歩んでほしい。一番の土台は子どもが安心して通える学校であること。児童生徒はあるがまを受け入れてもらったときに自分が自分らしくあることに気づき、自信を抱くことができる。そういう認識を大事にして児童生徒の学校生活を支えていく。
  - ・「教えること」は、「自ら学ぶこと」を自問して子どもと向き合うこと。
  - ・「自立する学び手の基礎力」を身に付けさせること。
  - ・教育公務員としての立場をわきまえ、教育のプロに徹すること。

- ・事件は現場で起きている。子どもの言動をどう捉えるか。何かあった場合には組織で対応してほしい。
  - ・発達特徴を踏まえた生徒指導を心がけること。
  - ・社会の変化を敏感に察知して業務を推進すること。
  - ・心身ともに健康で業務に当たること。
- 文部科学大臣補佐官の鈴木寛さんの「答えのない問いに向き合える教育を」からグローバル時代に必要な、どこの国で学んでも共通の価値が身につく教育。日本国内のみならず海外を意識したIT革命を学校でも行っていかなければならない。これから生きる子どもたちはアンテナを高くして、国際理解教育を通じて国際人として生きていくことが求められている。
- SDGs 実現のために、ESDが成功の鍵になる。SDGsとESDの違いについて、ESD持続可能な開発のための教育でありユネスコが指導している。日本が世界で初めてESDを提唱。SDGsはESDの10年後に国連で採択された。持続可能な開発のための教育目標は、SDGsと同じく17項目ある。学校ではSDGsを意識しながら持続可能な開発のための教育、ESDを回していくことが大事である。課題克服に向けた質の高い学びを全ての人にとということで、ユネスコはESDの重要性やSDGsの一体性を示している。小学校であれば総合的な学習、中学校は未来塾のような活動であり、総合的に横断的に学習を関係づけている。小中学校に浸透させていかなければならない。
- 雪ん子子ども会で作成した冊子「私たちの権利」について紹介した。

#### 4 協議

##### (1) 行事等の共催後援の承認について

- ①第48回中高飯水ソフトバレーボール大会について
- ②児童・生徒理解講演会について

関 教育長

協議に入ります(1)として行事等の共催講演の承認についてです。第48回中高飯水ソフトバレーボール大会。申請者は中高飯水ソフトバレーボール連盟ということで説明をお願いいたします。

島崎課長

それでは資料の1をお願いします。9月22日に中高飯水ソフトバレーボール連盟から後援の申請がございました。

○申請内容について説明

申請者 中高飯水ソフトバレーボール連盟

会長 小池 宏

事業等の名称 第48回中高飯水ソフトバレーボール大会

期間 令和4年11月27日(日) 8時から

場所 中野市民体育館

対象者 北信地区のソフトバレーボール愛好者

参加料 3,000円

参加人員 約50チーム 300人

関 教育長

何かご質問ございますか。

何もないようですので、48回ですよね。中高飯水ソフトバレーボール大会の後援については後援していくということによろしいですか。

委員全員

(承認)

関 教育長

これについては後援していくということでお願いいたします。

続いて、児童生徒理解講演会です。これについては申請者が県教組の下高井支部になります。説明をお願いします。

島崎課長

それでは資料2になりますが、10月13日に県教組下高井支部執行委員長から後援の申請がございました。目的としましては、悩みを持つ保護者、教員関係の方々に専門の立場から講演をいただき、児童生徒理解を進める機会とするというものです。

○申請内容について説明

申請者 県教組下高井支部執行委員長

宮澤 聡

事業の名称 児童・生徒理解講演会

期間 令和4年11月26日(土) 9時40分から

場所 中野市・下高井教育会館会議室

参加料 無料

関 教育長

それでは協議に入ります。児童生徒理解講演会について県教組下高井支部から申請が出されていますが、この後援についていかがでし

委員全員	ようか。この申請についても後援ということによろしいでしょうか。
関 教育長	(承認) ありがとうございました

(2) 教育委員会に係る例規等制定改廃について

①学校職員の勤務時間等に関する規程の一部改正について

関 教育長	次に、教育委員会に係る例規等制定改廃について、学校職員の勤務時間等に関する規定ということで説明をお願いします。
島崎課長	○学校職員の勤務時間等に関する規程の一部改正について説明
関 教育長	「再任用」というところが、「定年前再任用」という言葉に変わってきているということで、これについてはどうでしょうか。よろしいですか。
委員全員	(全員承認)

(3) 次年度予算に向けて

関 教育長	(3) にいきます。次年度予算に向けてということで令和5年度予算編成スケジュールそれについて説明をお願いします。
島崎課長	本日お配りしました令和3年度事務事業評価、厚い資料とA3番のカラー刷りのものになります。来年度の予算に向けてのスケジュールについてですが、各課の締め切りは例年12月下旬頃となっております。そして財政担当課、理事者の査定が1月中に行われまして、2月に

来年度の予算が内示になるというものであります。こちらの事務事業評価のご説明させていただきますが、8月に事務事業評価、令和3年度版ができました。これについては、子育て支援課、生涯学習課を抜粋したものでございます。この評価を見ていただくのと、こちらの教育大綱A3版の資料になりますが、今、子育て支援課、生涯学習課、人権推進室の方でこの教育大綱に基づいて仕事をしているわけですが、示す方向について、どの事業がどこにあてはまっているのか、一覧でわかるように載せているものでございます。事務事業評価を見ていただきまして、また来月12月の定例会のときまた教育委員さんの方からご意見等いただきまして、予算の方で検討できるものがあれば検討していきたいと思っております。すぐに実現できないものは今後の中研究したり、検討したりしていきたいと考えております。以上です。

高木課長

この配布させていただいておりますこの事務事業評価ですが、事務事業評価委員会というのが庁内各課長で組織をしています。事業仕分けではないですが、担当者と課長がその各課にわたる事業を評価しております。

島崎課長

追加ですけれども、令和4年度の村の予算は35億4900万、35億円ですが、そのうちの教育委員会に関わる予算15%程の5億3,900万円となっております。

角田教育長  
職務代理者

11月の定例教育委員会定例会において、来年度予算編成に向けての教育委員会としての事業目出しというか、提案をすることは可能であるという理解でよろしいですか。

島崎課長

スケジュール的にはいいかと思いますが、その内容的にすぐ対応できるものできないものもあると思っております。

角田教育長  
職務代理者

教育委員会として、もっとここを重点化した方がいいのではないかとか、あるいはここをフォローするとか、他市町村の例も含めながら、木島平村としても取り組みをぜひお願いしたらどうかという感じの提案になるのではと思っています。その中で数値目標的なもの、設定できるものとできないものがあります。それは仕方がないと思っていますが、例えばICT機器の更新期に向けて、どういう観点から更新の必要性、あるいは留意点を教育委員会として現場に求めていくのか。そういう意見をあわせて提案していくというイメージでいるのですが、皆さ

らんどうでしよ。う。

関 教育長

特徴を出していく、具体化を図っていくってことですね。

角田教育長  
職務代理者

木島平村の小中一貫型教育は6・3を三期に分けてやっていくのですが、それを具体的にどうやっているのか、何が必要なのか。概念としては理解していますが、そこで何が重視されて教員の皆さんが授業構成、生活指導をされているのか、ちょっとわかりにくい。来年度、例えば事業構築できるようなものがあるならば、それは教育委員会としても充実強化という観点で手を入れていけばいいのではないかと思います。

関 教育長

人事も含めてこういう学校をつくっていきましょう。今、言われたようにICTが滞っているのであれば、そこに力を重点的にかけましょうとか、現場の先生が動けるように配慮してあげなければならない。これは大事です。

角田教育長  
職務代理者

11月22日の次回には、こういうことも含めて意見をいただくということでもいいですか。

関 教育長

今回は、この事務事業評価と体系図これを基にして角田委員が言われたように、どこを大事にしていくかどこを優先していくか、力をかけていくかというところを具体的に、話し合っていきましょう。よろしいですか。お願いします。

## 5 報告

### (1) 行事等の共催後援の承認について

島崎子育て支援課長が、行事等の共催講演の承認について、2023年度版「わたしたちの街の社会見学」の後援について、教育長専決により後援承認したことを報告した。

### (2) 保育園及び小中学校の状況

島崎子育て支援課長が、保育園及び小中学校の状況を報告した。

### (3) その他

武田子育て支援係長が10/23～10/28までの日程で行われているルクセンブルク交流事業について、学校給食費検討会議の検討状況について報告した。

高木生涯学習課長が、第45回長野県スキー大会週間について説明した。

湯本生涯学習係長が、10/30の木島平村文化財検定、11/24～11/5で開催の村民祭作品展示について説明した。

## 6 その他

### (1) 当面の日程（諸行事・会議等）

島崎子育て支援課長が、当面の諸行事・会議等の説明をした。また、次回の定例会について11月22日（火）の午後2時30分から、引き続き教育委員、社会教育委員との合同会議を午後4時から開催することを説明した。

11月10日の令和4年度木島平村戦没者・満州開拓殉難者追悼平和祈念式への角田教育長職務代理者の出席について説明した。

山ノ内町教育委員会教育委員の異動について報告した。

## 7 閉 会 午後5時07分

関教育長が閉会を宣言した。